

JR東日本新花巻駅新幹線ホームに発車メロディの導入が決定しました ～ 宮沢賢治×日食なつこ「星めぐりの歌」が3月25日からお出迎え ～

市はJR東日本盛岡支社に対し「新花巻駅新幹線ホームへの発車メロディ導入」について、本年1月12日付で要望書を提出していましたが、このたび3月25日（土）より発車メロディを導入する旨の回答書を2月10日付でいただき、発車メロディの導入が正式に決定しました。

事業の概要

【開始日】 令和5年3月25日（土） JR新花巻駅始発新幹線から運用開始

- ・始発上り 6：22発（はやぶさ102号）
- ・始発下り 7：38発（はやぶさ・こまち95号）

【曲名】 「星めぐりの歌」（作：宮沢賢治）

【編曲・演奏】 ピアノ弾き語りソロピアニスト 日食なつこ氏（花巻市出身）
・上り／下り両線で曲調が異なります（両曲とも30秒程度）

上り線・・・東京方面へ旅に出るワクワク感をかき立てるような曲調

下り線・・・花巻に降り立つ方がその実感を得られるよう、宮沢賢治作品にも通ずる牧歌的な懐かしさ・どこか哀愁のある世界観を表現した曲調

【その他】 3月25日（メロディ開始日）に、JR新花巻駅にて関係者を招きセレモニーを実施予定。

○セレモニー内容（予定）

- ・午前9時45分 開式（新花巻駅舎外）
- ・午前10時過ぎ 上りホームへ移動、午前10時20分発やまびこ56号東京行き）のお見送りに合わせて、セレモニーを実施

セレモニーと併せて、郷土芸能の鹿踊りを演舞するほか、駅舎外にはキッチンカーの出店も予定しています。

令和5年は宮沢賢治没後90年を迎える記念すべき年であるとともに、当日は今年でラストランとなる「SL 銀河」の本年最初の運行日でもあります。

【日食なつこ氏 プロフィール】

1991年5月8日岩手県花巻市生まれ、ピアノ弾き語りソロアーティスト。9歳からピアノを、12歳から作詞作曲を始める。

17歳から”日食なつこ”として盛岡を拠点に本格的な音楽活動を開始。心の琴線を揺らす緻密に練り込まれた詞世界や作曲技術が注目を集め、大型フェスにも多数出演。2021年にリリースされた「アンチ・フリーズ」は第14回CDショップ大賞2022・入賞作品に選出され、近年では映画主題歌やCM音楽など書き下ろしも多く手がける。日食なつこが次々に生み出す濃密な音楽は創造性のとどまるところを知らず、ギターやベース、時にドラムのような打楽器のパートさえもピアノひとつで表現する独自の作曲スタイルをはじめ、その楽曲力とパフォーマンスはピアノ弾き語りアーティストへの想像や枠組みを超える。強さ、弱さ、鋭さ、儚さ、全てを内包して疾走するピアノミュージックは聴き手の胸を突き刺し、唯一無二の音楽体験を提供する。



日食なつこ